門松づくり講習会

～伝統芸能の継承～

門松づくり講習会

今日の日本では伝統工芸産業の需要の減少や後継者不足など、伝統文化の衰退が大きな問題になっています。

造園業界に携わる私たちでも日常の作業の中で伝統的造園技能、手法に直接、関わることが少なくなってしまいました。造園技能検定への協力など千葉県造園緑化協会では伝統技能育成にも注力してきましたが一般の方々に広く造園の伝統技能に触れていただきたい。また、多くの人に造園の伝統技能のすばらしさ知ってもらいたいとの思いから「門松づくり講習会」を毎年実施してまいりました。「門松づくり講習会」では一般市民の方々を対象にした「ミニ門松づくり講習会」そして会員企業対象に「門松づくり講習会」を開催しています。会員企業が作った門松は、千葉県庁をはじめ千葉県こども病院、千葉リハビリテーションセンター

ミニ門松づくり講習会

に寄贈させていただいています。会員企業の中でも門松制作は初めてという方が何人も参加し指導員と一緒に制作に取り組んでいます。毎年少しずつ出来栄えがよくなっていくのを感じます。

「ミニ門松づくり講習会」で作成するミニ門松は本格的なもので本物の藁を使って編み込みもします。実物の門松と作成方法もほとんど変わりません。出来栄え、作りごたえも十分です。老若男女14名の参加者の方々は講習時間３時間、講師の指導、手ほどきを受けながら、黙々と作業に取り組んでいらっしゃいました。それぞれ満足した様子で自分で作った門松を抱えて帰っていく姿を見た際には、主催者である私たちも達成感を感じ「今年も開催してよかった」と改めて思うことができ、伝統芸能文化を広めることに少しでも貢献できたことを嬉しく思います。

門松は一年の幸福をもたらしてくれる神様が家に来るための目印となる正月飾りです。門松が皆様の新しい一年に幸福をもたらしてくれること願っております。

（技術委員　大久保裕昭）

千葉県庁舎

千葉県こども病院